

令和 3 年 9 月 3 日

奈良県知事 荒井正吾様

## 新型コロナウイルス感染の自宅療養者対策に関する奈良県への要望

奈良県中途失聴・難聴者協会  
会長 出口 明子

令和 3 年 9 月 3 日付の奈良新聞の記事で、自宅療養者への対応がさらに改善されたことが報道されました。第 5 波の猛威で医療のひっ迫が懸念される中、重症化のリスクが高まる自宅療養者への対応を強化していただけることは本当にありがたいことです。

聞こえない、聞こえにくい人が、電話やオンラインがうまく使えないために、対応から漏れてしまったり手遅れになったりしないように、以下の対策をお願いします。

### 1. FAXでの連絡体制を整備してください

電話やオンラインでの対応が不可能な場合の、FAXでの連絡体制をさらに強化してください。FAXを送ったのに連絡がもらえず医療対応をしてもらえないということがないように、FAXでのやりとりができるような対策をお願いします。また、新たに電話を設けられる場合は、必ずFAXもつけて番号を周知してください。

FAXの場合は、送り先のFAX番号が明記され、問診票など必要事項に記入できるような送信票があれば、とても便利かと考えます。

### 2. 電話での連絡の場合、「リレーサービス」や「みえる電話」へも対応をお願いします

「電話リレーサービス」や、「みえる電話」を利用している人もいます。普通の電話と同様に対応をよろしくをお願いします。

### 3. オンラインでの対応の場合、要約筆記など、コミュニケーションに対する配慮をお願いします

オンラインでは、どのような仕組みで対応することになるのか、お知らせください。

### 4. 聞こえない、聞こえにくい人が自宅療養者となった場合は、医療側から連絡を定期的に取りってください

聞こえない、聞こえにくい人は、それだけで困ることがたくさんあり、まずはコロナに感染しないことを最大の目標として感染対策に十分留意しながら日々生活しています。しかし、万一感染してしまった場合、最初の連絡からコミュニケーションという大きな壁が立ちます。健康な時はFAXも負担になりませんが、自宅療養時にFAXを書けるか、FAXを送れるか、大きな不安があります。医療側からの定期的なアプローチで、状況把握ができるように対応をお願いします。

また、状況把握の連絡は、電話・FAXだけでなく、メールなど、電話・FAX以外にも本人が連絡を取りやすい方法を使うことも考えてください。

### 5. 以上の点について、可能な限りで回答をお願いします